

情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設の研究用）

西暦 2017 年 7 月 31 日作成

<p>研究課題名</p>	<p>凝固線溶子分子マーカー測定値の標準化に向けての検討</p>
<p>研究の対象</p>	<p>凝固線溶検査依頼がされた血漿・血清検体で年齢および特定疾患等は限定しない。</p>
<p>研究目的 ・方法</p>	<p>FDP、D ダイマーはフィブリン・フィブリノゲン分解産物を測定して線溶反応や血栓症の病態・経過を把握するために使用されている検査項目である。更に、血栓症の除外診断としてガイドラインが制定されカットオフ値が記載されていたり、厚生労働省の DIC 診断のスコアに使用されたりしているが、測定機器や製造試薬メーカーにより反応性が異なり標準化が進んでいない状況である。当院の検査後の血漿、血清を用いて標準品を作成して各測定試薬検量線を引き試薬間差が是正できるか検討を行う。また複数施設で使用して施設間差が是正し収束するか検討する。各試薬に共通で使用できる標準品を検討し試作したものの検証としてサンプリングした血清・血漿を用いて確認を行う</p>
<p>研究期間</p>	<p>西暦 2017 年 9 月 13 日 ～ 西暦 2022 年 8 月 31 日</p>
<p>研究に用いる 試料・情報 の種類</p>	<p>凝固線溶検査依頼がされた患者残余血漿・血清検体で連結不可能匿名化したものを使用。</p>
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 臨床検査部 （研究責任者）矢島 智志 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-787-2915</p>	